

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)

(生命理工医療科学先端研究特論) (医歯理工学先端研究特論)

記

1. 講 師 医療法人 C&P 西すずらん台歯科クリニック

院長 中本 知之

2. 演 題 ホームデンティストとして患者さん・地域社会と向き合う
～ヘルスケア診療とデンタルネグレクトへの取り組み～

3. 日 時 2025 年 11 月 20 日(木) 17:30～19:00

4. 場 所 ハイブリッド形式

歯科公衆衛生学分野図書室(D 棟 10 階北側)と Zoom

※受講希望者は 11 月 17 日(月)までに下記 URL または QR コードからお申し込みください

後日、詳細をご連絡いたします。

<https://forms.office.com/r/d8BAU5V1n5>



5. 要旨

私は特別な専門分野を持たない、いわゆる「普通の開業医」です。

地域に根ざしたホームデンティストとして、患者さんの健康を長期的に支えるためには、目の前の疾患を治療するだけでなく、疾患の病因論に基づいた継続的な健康管理が欠かせないと考えています。

当院では 2012 年よりヘルスケア診療¹⁾を導入し、患者さん一人ひとりのリスクに応じたう蝕・歯周病管理を行い、歯の喪失を可能な限り防ぐことを目指してきました。その結果、メンテナンス率の向上や長期的に安定した症例が増えるなど、診療室に通う患者さんの口腔内の健康に一定の成果を示すことができました。

ヘルスケア診療では、来院されるすべての患者さんの記録を継続的にとり、過去と現在のデータを比較しながら診療に役立てています。これらのデータを集計・分析した結果、診療地域における「歯の健康格差」が明らかとなりました。

この課題に対し、近隣の子ども食堂と連携し、歯科検診や口腔ケアの啓発活動を実施し、デンタルネグレクトの問題にも取り組んでいます。²⁾

本講演では、当院で実践してきたヘルスケア診療の取り組みと、医院データから見えた健康格差、さらに子ども食堂との連携によるデンタルネグレクト児童への対応について報告します。

地域インフラとしての歯科医院の新しい役割を感じ取っていただければ幸いです。

1) 一般社団法人) 日本ヘルスケア歯科学会設立趣旨 2011.4.1

https://healthcare.gr.jp/?page_id=65



2) 中本知之, 相田潤: デンタルネグレクトを超えて歯科保健医療が受けられない子どもたちへの対策の一提案. 口腔衛生会誌 75:97-101, 2025.

担当: 歯科公衆衛生学分野教授 相田潤

連絡先: 伊藤 itou.s.f84c@m.isct.ac.jp